National EC972A

玄関用心（熱線センサー付）（扉厚43～60mm用）

（ブラウン）EC972A
（グレー）　EC972H

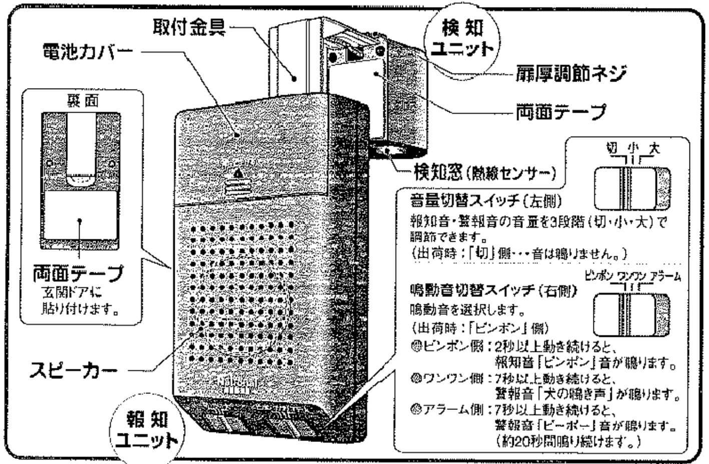
取扱説明書

- ●お買い上げありがとうございます。
- ●ご使用前に必ずお読みいただき大切に保管してください。
- ●万一、取扱説明書にしたがわずに使用された場合の故障などについては、責任を負い兼ねることがあります。

付属品		
	●検知窓用シール（予備）・・・・・・・・・1枚	●お客様ご相談窓口一覧表 ・・・・・・・・・・・1枚
	●扉厚調節ネジ（皿ネジタイプ）・・・・1本	●取扱説明書（本紙）・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚
	●両面テープ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚	

※乾電池別売：単3形乾電池×2本
（Panasonic製単3形アルカリ乾電池をおすすめします。
マンガン乾電池を使用すると、電池寿命が短くなります。）

各部のなまえとはたらき



音量切替スイッチ（左側）
報知音・警報音の音量を3段階（切・小・大）で調節できます。
（出荷時：「切」側・・・音は鳴りません。）

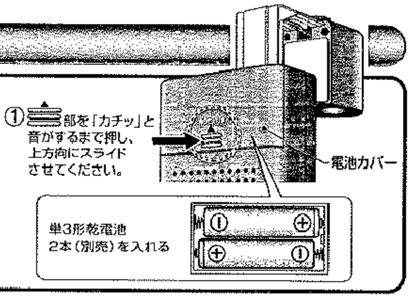
鳴動音切替スイッチ（右側）
鳴動音を選択します。
（出荷時：「ピンポン」側）
◎ピンポン側：2秒以上動き続けると、報知音「ピンポン」音が鳴ります。
◎ワンワン側：7秒以上動き続けると、警報音「犬の鳴き声」が鳴ります。
◎アラーム側：7秒以上動き続けると、警報音「ピーポー」音が鳴ります。（約20秒間鳴り続けます。）

電池の入れ方

①電池カバーをはずす。

②極性を間違えないように乾電池を入れる。
●乾電池には使用期限があります。
ご使用の際には乾電池に記載してある使用推奨期限を確認してください。

③電池カバーを取り付ける。



①▲部を「カチッ」と音がするまで押し、上方向にスライドさせてください。

単3形乾電池2本（別売）を入れる

安全上のご注意

⚠注意

**乾電池は極性に注意して、表示通りに入れる。
また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。**
乾電池の破裂や液もれの原因となります。
必ず守る

確実に固定する。
固定のしかたに不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。
必ず守る

玄関ドアへ商品を固定するときに、指をはさまないように気をつける。
指をはさんだ際にけがをするおそれがあります。
必ず守る

ご注意

- ● この商品は、熱線センサーが人を検知して音で知らせる機能を持っていますが、侵入・盗難を阻止する商品ではありません。
発生した損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- ● この商品は、人の動きなどの温度変化を検出する方式のため、検知範囲内の気温と体温の差が少ない場合、検知範囲内で人が静止した場合、極端にゆっくりした動作や走るような速さで通過した場合は、検知できません。（温度変化として検出できない場合は動作しません。）
- ● この商品は、強風や周囲の環境による温度上昇や障害物により誤動作し、電池寿命が短くなる場合があります。設置場所には十分注意してください。
また、雨の降り始めに検知窓部分に水滴が付着したり、地面が水でぬれたりして、温度変化を検知すると、動作する場合があります。
- ● 検知ユニットは防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
また、台風などの大雨時や玄関ドアの掃除をするときには、水がかからないように、検知ユニットにポリ袋をかぶせるなど配慮してください。故障の原因となります。
- ● 検知ユニットに雪がつもるような場所でのご使用は、誤動作や不動作の原因となります。
検知ユニットに雪がつもらないように配慮してください。
- ● 商品に衝撃を与えないでください。
落としたり、玄関ドアを強く開閉すると、誤動作や破損の原因となります。
- ● 商品の設置場所を変更する場合は、あらかじめ動作確認を行ってください。

使い方

1 報知ユニットに電池を入れる。（「電池の入れ方」参照）

2 鳴動音切替スイッチを選択する。

報知機能として使用する場合	「ピンポン」側
警報機能として使用する場合	「ワンワン」または「アラーム」側

3 音量切替スイッチを「小」または「大」側にする。

4 検知範囲内の人の動き（温度変化）を検知すると・・・

「ピンポン」側に設定した場合

- ●**2秒以上**動き続けると、「ピンポン」音が鳴ります。
- ●動き続けると鳴り続けます。

㊟ 検知範囲内でも人が静止すると報知音は鳴りません。

「ワンワン」または「アラーム」側に設定した場合

- ●**7秒以上**動き続けると、「犬の鳴き声」または「ピーポー」音が鳴ります。
- ●動き続けると鳴り続けます。

㊟ ●「ピーポー」音は一度鳴ると、約20秒間は鳴り続けます。
（音量切替スイッチを「切」側にすると、音は止まります。）
●検知範囲内でも人が静止すると警報音は鳴りません。

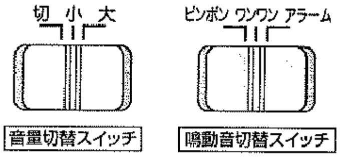
電池切れのお知らせ

- ●週に一度、電池が切れていないか（正常に動作するか）確認してください。
- ●「ピッ」音（約1分間に1回）が鳴る場合や、スイッチ操作時に「ピッ」音が鳴動しない場合は、電池切れが近づいています。新しい電池と交換してください。

㊟ 電池が入っていない場合や完全に電池が切れている場合には鳴りません。

スイッチの切替について

- ● 報知音・警報音が鳴動中に音量切替スイッチを「切」側にすると、音を止めることができます。
- ● 音を鳴らしたくない場合は、音量切替スイッチを「切」側にしてください。（ただし、「切」側では検知しません。）
- ● スイッチの切替え時には「ピッ」音が鳴りその後約25秒間は動作しません。
ただし、音量切替スイッチを「小」側から「大」側（または「大」側[illegible]場合はすぐに動作します。

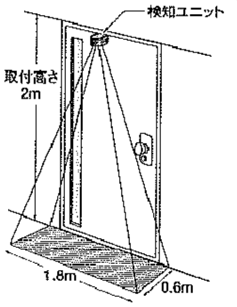


音量切替スイッチ　　鳴動音切替スイッチ

生産終了品
この商品は生産終了品につき、製造することができません。

検知範囲

㊟ 取付推奨高さは、2.0m～2.4mです。
高く取り付けると感度は弱くなります。



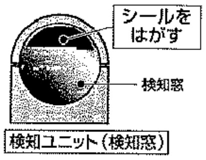
■検知範囲一覧表

取付高さ ＼ 検知範囲	縦	横
2.0m	0.6m （1.4m）	1.8m
2.4m	0.7m （1.7m）	2.2m

※（ ）内は検知窓のシールをはがしたときの検知範囲を示します。
（横の長さは変わりません。）

検知範囲を広くしたい場合は・・・

検知窓のシールをはがしてください。



検知ユニット（検知窓）

㊟ 広い範囲まで検知するので、検知する回数が増えます。これは、電池寿命が短くなる原因となりますので、一戸建住宅で玄関先が広い場合や、玄関ドアから通路が遠い場合などにかぎりおすすめします。

お手入れ

- ●**ふだんのおそうじは・・・**
やわらかい布でふき取ってください。
- ●**汚れが目立つときは・・・**
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。

㊟ ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

取付上のご注意

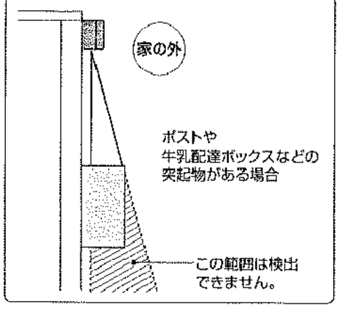
■次のような場所には取り付けないでください。
（検出しなかったり、誤動作の原因となります。）

●この商品は検知範囲内の温度変化を検出する方式です。
何らかの要因で検知範囲内の温度が急に変わったときは動作したり、人が通っても温度変化として検出できないときは動作しません。

㊟ 熱線センサーはガラスごしには検知しません。

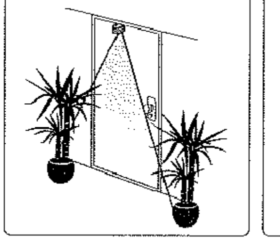
障害物で熱線を遮る場所

●検知範囲内に障害物のある場所

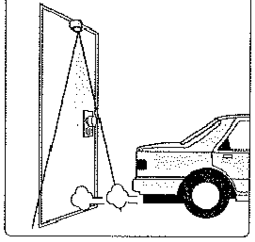

家の外
ポストや
牛乳配達ボックスなどの
突起物がある場合
この範囲は検出
できません。

誤動作しやすい場所（ひんぱんに動作すると、電池寿命が短くなります。）

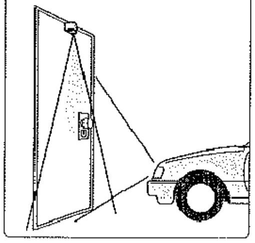
●検知範囲内に動くものがある場所
（洗濯物、カーテン、猫、虫が集まる外灯の近く、植木など）



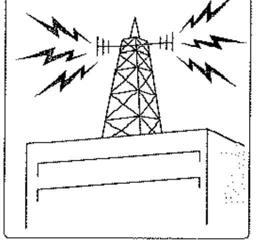
●検知範囲内で急激な温度変化のある場所
（水、湯気、油、すきま風、車の排気ガスなど）



●直射光・反射光の当たる場所
●室外機の風が直接当たる場所
（太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、冷暖房器具など）



●電気的雑音の発生源の近く
（放送局、アマチュア無線、近くで携帯電話を使用している場合など）



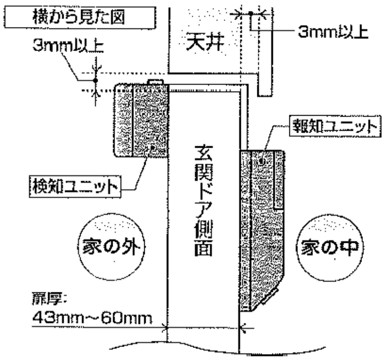
取付方法

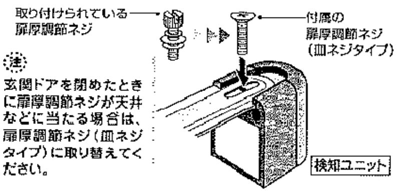
取付可能な玄関ドア

●外開きのドアに取付可能です。
（引き戸には取り付けできません。）

●玄関ドアに両面テープで固定します。

㊟ 両面テープを貼って固定するため、報知ユニットと検知ユニットの貼付部分が平面でないと取り付けできません。


横から見た図
3mm以上
天井
3mm以上
報知ユニット
検知ユニット
玄関ドア側面
家の外
家の中
扉厚:
43mm~60mm


取り付けられている
扉厚調節ネジ
付属の
扉厚調節ネジ
（皿ネジタイプ）
検知ユニット

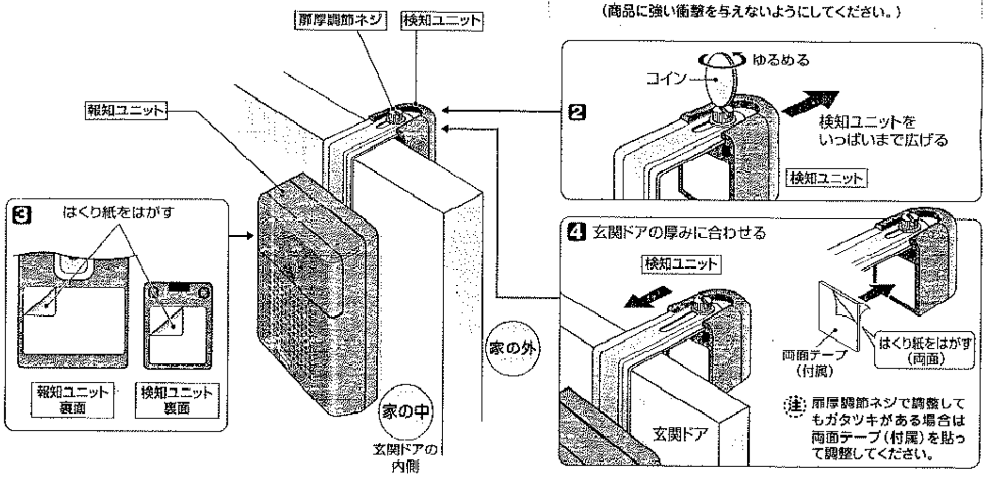
㊟
玄関ドアを閉めたときに扉厚調節ネジが天井などに当たる場合は、扉厚調節ネジ（皿ネジタイプ）に取り替えてください。

報知ユニットと検知ユニットの取付

1. 玄関ドアの汚れや水滴をふき取る。
2. コインなどで検知ユニット上部の扉厚調節ネジをゆるめる。

   ㊟ 3のはくり紙をはがす前に、商品を取付位置に仮固定し、検知範囲を確認してください。
3. 報知ユニットと検知ユニット裏面のはくり紙をはがして、玄関ドアに貼り付ける。
4. 玄関ドアの厚みに合わせて検知ユニットの位置を調整し、扉厚調節ネジで固定する。

㊟
- 貼付位置の玄関ドア面の汚れを落とし、水滴がついている場合やぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。
  また冬期はストーブなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れている、ぬれている、粘着面の温度が低すぎるなどの原因により、粘着力が弱くなり、はずれるおそれがあります。
- 粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難です。あらかじめ玄関ドアの開閉時に商品が当たらないことを確認してから、貼り付けてください。
- 取り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。
- 両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で必要な粘着力になります。
  （商品に強い衝撃を与えないようにしてください。）


扉厚調節ネジ
検知ユニット
報知ユニット
3
はくり紙をはがす
報知ユニット 裏面
検知ユニット 裏面
家の外
家の中
玄関ドアの内側
2
コイン
ゆるめる
検知ユニットを
いっぱいまで広げる
検知ユニット
4 玄関ドアの厚みに合わせる
検知ユニット
両面テープ
（付属）
はくり紙をはがす
（両面）
玄関ドア

㊟ 扉厚調節ネジで調整してもガタツキがある場合は両面テープ（付属）を貼って調整してください。

故障かなと思われたら

状　態	点　検	処　置
動作しない	検知範囲内で静止していませんか?	故障ではありません。静止していると動作しません。 （人の動きなどの温度変化を検出していません。）
	気温が体温に近くなっていませんか?	故障ではありません。夏場など気温が体温に近づいたときには、検知しにくくなります。
	検知範囲に障害物はありませんか?	障害物を取り除いてください。
	乾電池が正しく入っていますか?	極性を確認して、正しく入れてください。
	古い乾電池を使っていませんか?	新しい乾電池に交換してください。
	音量切替スイッチが「切」側になっていませんか?	「小」または「大」側にしてください。
	スイッチを切り替えてから25秒以上経過していますか?	スイッチを切り替えた後、約25秒間は動作しません。 25秒以上経過してから動作確認をしてください。
時々動作しない	検知窓がホコリや水滴で汚れていませんか?	やわらかい乾いた布でふき取ってください。 （ベンジンなどは引火性があるため使用しないでください。）
ひんぱんに動作する、または動作し続ける	検知範囲内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか?	原因となるものを取り除いてください。
	太陽光の強い反射、ヘッドライトなどの光が当たっていませんか?	電池寿命が短くなる原因となりますので、光が入らないように配慮してください。
	商品の近くで携帯電話を使用していませんか?	携帯電話は商品から離れた位置で使用してください。
	検知範囲内で、風でゆれている植木などがありませんか?	植木などの置き場所を変更してください。 または、音量切替スイッチを「切」側に切り替えてください。 （ただし、この場合は検知できません。）
・「ピッ」音（約1分間に1回）が鳴る ・スイッチ切替時に「ピッ」音が鳴らない ・音量切替スイッチを「大」側にしたとき音が鳴らない ・スイッチ切替時や通常時に「ブツブツ」音が聞こえる		電池切れです。 新しいアルカリ乾電池に交換してください。

取り付け後の動作確認方法

1. 玄関ドアを開閉して、壁面などと商品が接触しないか、または、がたつきがないか確認する。
2. 「使い方」（表面参照）の項目にしたがって、正常に動作することを確認する。

   鳴動しない場合は、本紙、「故障かなと思われたら」にしたがって再度確認してください。

仕　様

電　源	単3形乾電池×2本（別売）
検知範囲	約1.8m×0.6m（取付高さ約2mにて）
音　量 （室内側前方約1m）	ピンポン音（報知音）：約80dB 犬の鳴き声（警報音）：約78dB ピーポー音（警報音）：約80dB
電池寿命	約1年（1日1回　警報音鳴動） （アルカリ乾電池使用時）
使用温度範囲	0℃～＋40℃
質　量	約250g　（電池は含みません。）

本　社（〒571-8686）大阪府門真市大字門真1048　TEL(06)6908-1131（大代表）　松下電工株式会社 HA・セキュリティ事業部　津工場（〒514-8555）三重県津市大字藤方1668　TEL(059)228-1211（代表）
8A2 790 00002